

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38255
事業名	成年後見制度利用促進費					
評価担当課	所 属	保)総務部 地域福祉・生活支援			電話番号	011-211-2932
施策名	多様なニーズに応じた住まいが確保されているとともに、在宅医療					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ● その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	成年後見制度の利用者数は認知症高齢者数と比較して少ない状況。高齢化のさらなる進行や認知症高齢者の増加が見込まれることから、制度のニーズはより高まると考えられる。
	事業内容(何を実施し)	「成年後見制度の利用の促進に関する法律」では、市町村において、成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な計画を策定することや、権利擁護支援を要する方の発見等に資する地域連携ネットワークの構築及びその中核となる機関を整備することが努力義務として規定された。そのため、札幌市では、地域福祉社会計画審議会の専門部会である権利擁護部会での審議を経て成年後見制度利用促進基本計画を策定し、令和4年3月に地域連携ネットワークの構築における会議体として成年後見推進協議会を設置した。また、当該ネットワークや協議会のコーディネートを行う中核機関として成年後見推進センターを設置。各団体と連携しながら成年後見制度の利用促進を図っていく。 また、利用促進の一環である市民後見推進事業において、市民後見人の養成・活用を促進するとともに、市民後見人に対するサポート体制の充実に向けた取り組みを進める。 諸事業一覧 ①地域福祉社会計画審議会運営等 ②中核機関運営 ③市民後見推進 ④中核機関の機能強化
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	判断能力が十分ではない認知症高齢者等の方が必要な権利擁護支援に結びつき、誰もが安心して暮らし続けられる環境を整備する。
	他都市の状況	各政令市においても、成年後見制度利用促進計画の策定や中核機関の設置等に係る体制整備を進めている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	12,581 千円	うち特定財源	650 千円	正規職員業務量	0.7 人工
令和5年度予算額	23,000 千円	うち特定財源	1,650 千円	正規職員業務量	0.8 人工
令和5年度決算額	21,521 千円	うち特定財源	1,650 千円	正規職員業務量	0.8 人工
令和6年度予算額	25,000 千円	うち特定財源	2,300 千円	正規職員業務量	0.8 人工

指標	アウトプット活動指標1	権利擁護支援に関する研修受講人数				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		-	1700	2172	2200	2700		
	↓							
	アウトカム成果指標1					という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度は研修業務に重点的に取り組んだため実績値が計画値を大きく上回った。令和6年度以降は計画値程度となる見込み。						
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	↓							
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	引き続き札幌市成年後見推進センターにおいて広報業務や相談業務を行うほか、福祉専門職をはじめとする関係者向けに研修を実施していく。